

たしかめプリント【小学校4年生】数と計算①



年 組 名 前

次の問題に答えましょう。

- (1) $8.9 - 0.78$ のおよその答えとしてふさわしいものを、下の **1** から **4** までの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。

レベル6

1 0.1

2 1

3 0.8

4 8

(答え)

- (2) $5.21 + 0.7$ を、 0.01 をもとにした式に表します。

5.21 と 0.7 は、それぞれ 0.01 を何個集めた数になりますか。

下の **ア**、**イ** に入る数を書きましょう。

レベル6

$$\begin{array}{ccc} 5.21 & + & 0.7 \\ \downarrow & & \downarrow \\ \boxed{\text{ア}} & + & \boxed{\text{イ}} \end{array}$$

(答え)

ア

イ

たしかめプリント【小学校4年生】数と計算②



年 組 名 前

次の問題に答えましょう。

- (1) $6.3 + 0.22$ の答えを 6.52 と求めました。

レベル4

この答えが正しいかどうかを、次のように確かめます。

下の ウ , エ , オ に入る数を書きましょう。

ウ - エ を計算して, オ になるかどうかを確かめます。

(答え) ウ

エ

オ

- (2) 下の3つの数の中で、いちばん小さい数と、いちばん大きい数を書きましょう。

レベル5

7.1

7

7.01

いちばん小さい数……

いちばん大きい数……

たしかめプリント【小学校4年生】数と計算③



年 組 名 前

次の計算をしましょう。

(1) $4.65 + 0.3$

レベル5

(2) $6.79 - 0.8$

レベル6

(3) $0.75 + 0.9$

レベル5

(4) $10.3 + 4$

レベル5

(5) $6 + 0.5 \times 2$

レベル6

--

たしかめプリント【小学校4年生】数と計算④



年 組 名 前

次の計算をしましょう。

(1) $100 - 20 \times 4$

レベル5

(2) $16 - (6 + 3)$

レベル3

(3) $2 \div 5$ (わりきれぬまで計算して、商を小数で書きましょう。)

レベル3

(4) $6 \div 5$ (わりきれぬまで計算して、商を小数で書きましょう。)

レベル4

(5) $2\frac{5}{7} + 1\frac{1}{7}$

レベル3

たしかめプリント【小学校4年生】数と計算⑤



年 組 名 前

次の問題に答えましょう。

- (1) ししやごにゆう 四捨五入して一万の位までのがい数にしたとき、20000になる整数を、下の **1** から **5** までの中から**すべて**選んで、その番号を書きましょう。

レベル7

- 1 14500
- 2 15000
- 3 19500
- 4 24999
- 5 25000

(答え)

- (2) ある数を3でわったら、商が9であまりが2でした。
ある数を求める式を、下の **1** から **4** までの中から**1つ**選んで、その番号を書きましょう。

レベル6

- 1 $9 \div 3 + 2$
- 2 $9 \div 3 - 2$
- 3 $3 \times 9 + 2$
- 4 $3 \times 9 - 2$

(答え)

たしかめプリント【小学校4年生】数と計算⑥



年 組 名 前

次の問題に答えましょう。

はるなさんたちは、学習した九九の表についてふり返りました。

まず、九九の表の、2の段と3の段に着目し、縦に並んでいる2つの数について話し合いました。

次に、九九の表の、横に並んでいる数を選び、選んだ数について話し合いました。

	かける数								
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	1	2	3	4	5	6	7	8	9
2	2	4	6	8	10	12	14	16	18
3	3	6	9	12	15	18	21	24	27
4	4	8	12	16	20	24	28	32	36
5	5	10	15	20	25	30	35	40	45
6	6	12	18	24	30	36	42	48	54
7	7	14	21	28	35	42	49	56	63
8	8	16	24	32	40	48	56	64	72
9	9	18	27	36	45	54	63	72	81

かけられる数



はるな

横に並んでいる3つの数「4, 5, 6」の和を求めると、 $4 + 5 + 6 = 15$ で、15です。15は、「4, 5, 6」の真ん中の数5の3倍になっています。



ひろと

横に並んでいる3つの数「18, 21, 24」の和63は、真ん中の数21の3倍になっています。



はるな

それでは、横に並んでいる数が5つの場合は、どのようなのかな。

ゆうかさんたちは、横に並んでいる5つの数「6, 12, 18, 24, 30」について調べました。



横に並んでいる5つの数「6, 12, 18, 24, 30」の和を求めると90です。90は18の5倍になっています。

ゆうかさんの話を聞いてはるなさんは、次のように説明し直しました。

【はるなさんの説明】

横に並んでいる5つの数「6, 12, 18, 24, 30」の和90は、真ん中の数18の5倍になっています。

今度は、横に並んでいる数が7つの場合について調べ、【はるなさんの説明】と同じように説明します。

2の段^{だん}の、横に並んでいる7つの数「4, 6, 8, 10, 12, 14, 16」について【はるなさんの説明】と同じように説明すると、どのようになりますか。言葉と数を使って書きましょう。

レベル7

(かいとうらん)

たしかめプリント【小学校4年生】数と計算⑦



年 組 名 前

次の問題に答えましょう。

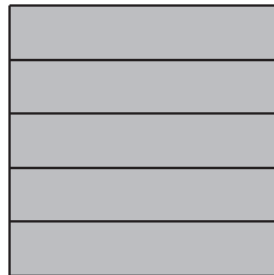
さくらさんたちは、学校の黒板に輪かざりをつけようと思い、先生から折り紙をもらいました。折り紙の枚数は100枚でした。

1枚の折り紙からは、折り紙の輪を5個作ることができます。

折り紙の輪を30個つなげて、輪かざりを1本作ります。

輪かざり1本の作り方

- ① 折り紙を同じはばで5つに切ります。



- ② 切った折り紙のはしの部分にのりをつけて、もう一方のはしの部分と重ねてはりあわせると、折り紙の輪が1個できます。



- ③ 折り紙の輪を次のようにつなげていきます。



- ④ 折り紙の輪を30個つないだものを、輪かざり1本とします。

さくらさんたちは、**図1**のように、横の長さが7 mの黒板を、50 cmずつに区切って、上の部分に輪かざりを1本ずつたるませながらつけようと計画しています。

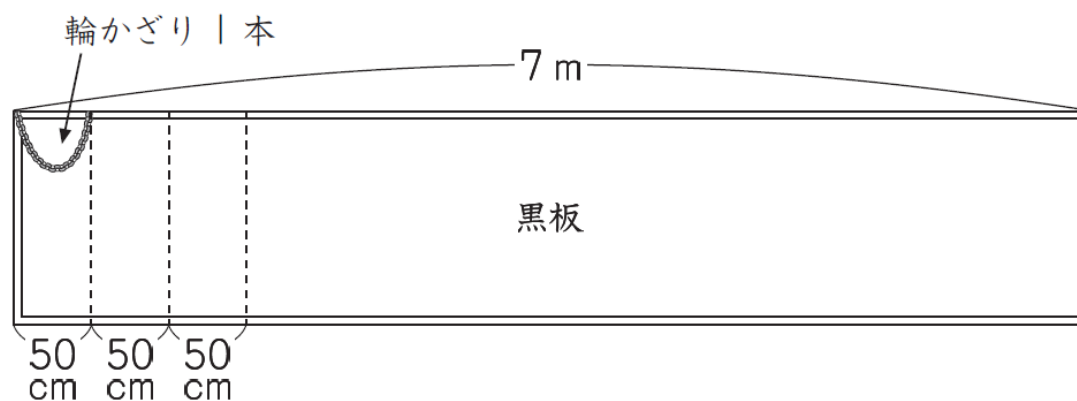


図1

横の長さが7 mの黒板の、はしからはしまで輪かざりをつけるためには、折り紙の枚数が100枚あれば足够了。

そうたさんは、そのわけを、次のように説明しようとしています。

【そうたさんの説明】

黒板の横の長さは7 mなので700 cmです。

黒板のはしからはしまで輪かざりをつけるために必要な輪かざりの本数は、 $700 \div 50 = 14$ で、14本です。

【そうたさんの説明】に続くように、折り紙の枚数が100枚あれば足りるわけを、式や言葉を使って書きましょう。

(かいとつらん)